

# 各地区業況アンケート結果（29年4月調査分）

（29年4月27日）

全国鉄鋼販売業連合会

4月26日締切で、当会役員151名に対しこのアンケートを行ったところ61名の回答があり（回答率40.4%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。

※  $DI = (A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、（数は回答実数）

## 1. 売上DI値、数量減、金額増

問1】貴社の3月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	9	9	20	13	10	61	60
比率	15%	15%	33%	21%	16%	DI-10	DI-5
売上金額/前年同月比	11	7	25	13	5	61	60
比率	18%	12%	41%	21%	8%	DI+10	DI-5

## 2. 収益状況良くなり黒字は7割弱に

問2】貴社の3月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	16	26	12	5	2	61	60
比率	26%	43%	20%	8%	3%	DI+80	DI+63

## 3. 全向け先でDI値マイナス

問3】貴社の営業窓口から見て4月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向		7	23	12	2	44	-20	-15
民間建設向	2	7	29	13		51	-4	+27
自動車向		2	22	6		30	-13	+10
その他需要家向	1	4	34	13	1	53	-17	-2
仲間取引	2	4	24	19	3	52	-33	-16
計	5	24	132	63	6	230	-18	-1
比率	2%	11%	57%	27%	3%			

## 4. 連休明けからに若干の期待

問4】貴社における向う5月から7月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横ばい	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測	3	26	23	5	2	59	59
比率	5%	44%	39%	9%	3%	DI +39	DI +14

## 5. 薄板類、不足気味も逼迫感弱まる

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	品種別	A	B	C	D	E		4月
D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	D I
-32	-13	-28	-32	-27	-30	-24	-38	-28	-19	-26	-21	鉄筋用丸鋼		1	21	5	2	29	-28
-30	-21	-23	-15	-15	-15	-14	-17	-11	-5	-3	-11	構造用丸鋼			26	2		28	-7
-23	-11	-21	-11	-12	-8	-3	-8	-7	-5	-3	-7	平角鋼			28	2		30	-7
-34	-7	-16	-9	9	4	16	26	58	38	26	21	H形鋼		4	24	2		30	7
-57	-26	-38	-19	-14	0	4	0	18	0	-23	-4	コラム		2	19	2		23	0
-28	-12	-19	-10	-8	-10	-10	7	6	2	-6	-3	小形山形鋼		3	27	4		34	-3
-30	-15	-22	-17	-18	-16	-10	7	11	7	-6	-12	中形山形鋼		1	30	3	0	34	-6
-30	-21	-29	-18	-24	-7	-10	3	15	10	3	-12	溝形鋼			30	3		33	-9
-46	-64	-36	-22	-19	-19	-14	-13	-11	-9	-20	-15	軽量形鋼C形			26	1	1	28	-11
-32	-32	-33	-17	-28	-22	-20	-20	-20	-12	-19	-10	軽量形鋼広巾			20	2		22	-9
-62	-41	-55	-43	-44	-33	-23	-15	4	36	32	39	冷延薄板	1	7	15	2		25	28
-36	-35	-40	-35	-29	-20	-19	-6	-3	21	22	16	熱延薄板		6	22	1		29	17
-62	-46	-50	-53	-34	-27	-22	-7	26	62	42	58	表面処理鋼板	3	13	15	1		32	56
-63	-45	-48	-48	-29	-27	-22	-18	33	100	89	85	酸洗鋼板	3	11	16			30	57
-47	-32	-30	-23	-22	-24	-23	-9	3	30	38	23	中板		7	26	2		35	14
-44	-27	-16	-21	-20	-24	-23	-6	-5	18	16	10	厚板		5	25	6		36	-3
-15	-11	-11	-4	0	-13	-5	-7	-11	25	22	5	極厚板			16	1		17	-6
-25	-30	-11	-21	-17	-14	-11	-8	-14	-11	-11	3	縞板		2	24	4		30	-7
-41	-32	-28	-26	-24	-22	-23	-20	-15	-16	-18	-23	中径角		2	27	2	1	32	-6
-33	-25	-33	-26	-17	-12	-17	-16	-15	-16	-8	-12	ガス管黒		3	29	1	1	34	0
-31	-27	-23	-31	-25	-16	-15	-17	-13	-11	-12	-9	構造用鋼管		2	28	1		31	3
-38	-28	-28	-24	-20	-17	-14	-8	2	11	6	7	計	7	69	494	47	5	622	4

6. 需要は盛り上がりせず高値玉入荷で、流通は価格転嫁難

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交ぜて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	例年に比べ荷動きが早い気がする。民間需要を中心に仕事量は多いが、人手不足が懸念される。
	B	中小物件の倉出しは相変わらず当用買いが続いている。新規物件は増えている感がある。メーカー値上げの転嫁を進めているため強含みの展開は続いているが、足並みが揃わない状況である。
	C	丸棒の需給バランスはタイトではないが、スクラップ価格に比してメーカーネットが全国ベースで見ても強い。得意先との値決めが非常に厳しい。
東北	A	ファブの仕事量がかなり減っている。一次加工も今年に入り激減。メーカー、商社の値上げが続くが、需要は盛り上がらない。5月以降に現場はずれ込む。
	B	東北地区の需要が増えるのは期待薄。これから出てくる物件を大切に商売していくしかない。
	C	昨年11～12月の安い契約残（鉄筋）の出荷で売上を確保しているが、その契約残も順調に減っている。5月、6月は新規契約が望めないだけに厳しい。
	D	見積り案件は増えてきたが、足元はイマイチである。価格も先行き不透明であり、値上げ幅が大きく、価格転嫁が追いついていない。
新潟	A	ここへきて小型建築物件が出始めてきた。依然として大型物件はない。
	B	価格転嫁も進んでいる。この先、薄板のタイト感がさらに強まるようだ。建材、産機が少し動いているが、夏までらしい。
	C	1～2月より若干の動きを感じるも低調である。建設関係も地場物件は少ない。仕入価格のアップが、いまだ浸透していない。鉄筋が一番悪い。
	D	高値玉が入荷し、粗利率が低下、なんとしても価格改定を急ぎたい。
	E	3月も荷動きは低調。ただ5～6月には需要が出てきそうである。メーカーは強気だが、引合いが少ないため値上げには苦戦している。
川口		メーカーでは先行きを見越して大幅値上げをしたが、我々エンドユーザーに納入しているところまで価格転嫁されていない。現状、いまだ需要は盛り上がりせず、値上げに苦勞しているのが実情である。当地区でも同様だが、徐々に値上げに協力して頂いているが、売上数量はほぼ変わらず、売上金額は微増となっている。また、先行き予算が執行される頃には良くなると思われる。
神奈川		新年度に入り、需要は低迷。第2四半期以降と思われる建設需要待ちである。
東京	A	メーカー値上げをしっかりと転嫁し、採算重視の姿勢を保っていきたい。
	B	4月相場続伸との憶測から店売りは駆け込み需要があった。一方、需要家向は精彩を欠いたままである。しばらく不需求期が続くものの高炉メーカーの供給姿勢に変わりはなく品薄状態は続くとしている。
	C	市況は上ってきているが、需要バランスよりもメーカー対応によるところが大きい。従って、メーカーの動きが鍵になる。
	D	(鋼管)3月は全品種低調であった。現状の需要での値上げは厳しく、市況は足踏み状態である。
	E	薄板店売りにおける在庫量の絶対量は少ない。引合いが激減しているので、需要均衡という錯覚に陥っている。

東京	F	高炉メーカーの値上げが更に実施され、仕入高の状態が続いている。商社、メーカー系の流通では値戻しに対して消極的な姿勢が見られ温度差を感じる。いずれにしても、仕入が上った分は販売価格を早急に上げていかなければならない。
	G	高炉メーカーの店売り向けの値上転嫁が出来ず苦慮している。メーカーの足並みが揃っていない。
静岡	A	先々の建築案件はあるものの、足元は仕事量の確保に追われている。そのような状況の中で、メーカーの値上げ分は半分も転嫁できていない。
	B	製造業は二輪、四輪の好調を受けD Iが上昇している。景気判断は上方修正されているが、実感に乏しい。原材料価格が不安定で先々の見通しが立たず、価格転嫁は一過性となる様相である。
石川		鉄筋構造物の物件が少ない。北陸新幹線の鉄筋は別格だが、鉄筋職人の需給バランスが各社の規模によりバラバラである。大型トレーラーの重量規制が厳しくなっている。鋼材運搬車は特殊業界になっており、ガラパゴス化になりつつある。抜本的な変化を要するであろう。溶接工がかなり逼迫している。物づくり、建設業界にとって大きな問題であろう。
富山		地元向け、全国向け物件、どちらも低調な動きである。物流コスト上昇が及ぼす影響は全国各地区同一課題といえども価格費用の基準がまちまちであるため、価格を押し上げるには労を要することが多い。
愛知	A	自動車は予定通り調整月なので低調であるのは承知しているが、数年前に比べると低レベルである。良くないが悪くもないというところか。5月、6月に向けて上向くことを期待したいところである。他の分野も一服というところである。それよりも値上げが問題だ。ある程度は認めてもらえるが、メーカーが予定している次の段階には相当抵抗がありそうだ。
	B	2月位から仕事が出てきた。3月も好調を維持している。残業も増え、忙しい状態が続いている。
	C	全般的に荷動きは堅調と思われるが、各メーカーから値上げされた製品が入荷してきており、採算悪化の流通がある一方で、値上げた流通は出荷減となり、どちらを取るかで、悩ましい状況である。メーカー姿勢は更に上げたい方向であり、もう一段の値上げ努力が必要である。大手ユーザー中心に現金支払いの動きが見られるが相手先により一部違った対応もあるようである。諸経費の上昇もあり、強い気持ちで交渉することが肝要である。
	D	集購は前年並み（自社関連）。3月は例年ピークになる月だが、3月売上が前月比マイナスである。一部の業種で仮需が発生した。しかしながら、今回の値上げに関しては仮需がほとんどなかった。値上げの状況は直需に関して大きな変化はない。相変わらず消極的な業者もかなりある。メーカーの上げ幅には程遠い現状。コイルの状況が厳しいと聞いているがタイムラグが大きい。車関係は4月、5月に分かれるが値上げは順調である。搬送関係の物件が止まっていたが出始めた。休暇をさらに増やし、求人環境を良くする計画である。
大阪	A	新年度に入り、メーカーからの更なる値上げ依頼に対し、荷動きは悪いが遅れず、転嫁することが必要である。
	B	4月新年度入りとともに公共土木工事は一巡し、継続案件以外の動きは止まった。民間建設関連も低迷しているが、住宅、アパート、宅地造成は底堅い動きが続いている。民間建設需要が本格化してくるのは、早くて7月と思われる。

岡山		荷動き低迷により、価格転嫁が進まない。高値玉の入荷は待ったなしで入ってくるので、これからは更に厳しい交渉が予想される。
北九州		4月に入り、引合いは仮需、実需とも低調だが、物件の契約残の消化もあり、売上はほぼ横ばいである。収益は高い契約の入荷が増えてきたことや安値商売がなくなることによって悪化しそうだ。稼働日が少ないことから苦戦を強いられそうである。マンパワー不足は顕著で7月以降の期待感も延期となる懸念大である。
福岡		3月は年度末の影響もあり、多品種、少量受注に対応するため忙しかったが、20日以降、落ち着いたので、4月のスタートが心配である。この一年間を通じて短納期受注をどうこなしていくかということがテーマだと思う。もっと同業者とコミュニケーションをとり、すばやい対応をしていきたい。信用問題は、大きな倒産もなかったが、想定外のことが起こりうるので、気を引き締めていきたいと思う。